

Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ



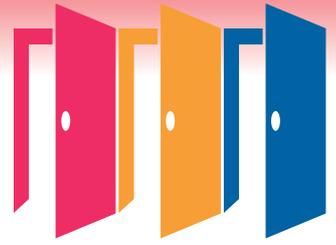
会長 河野 和正



幹事 守重 昌之

会長テーマ
会員の一步前進はクラブの一步前進
そして地域社会への社会奉仕の数歩前進へつなげる。

2020>21 Weekly Report vol.33-23



ロータリーは機会の扉を開く

2021年2月28日(火)第1523回 日野市ミニバスケットボール大会 於:ふれあいホール

熱戦を繰り広げた戦い勝ち抜いた両チームが激突、コロナ禍で観客席もまばらでしたが、場内は熱気にあふれ、選手が日頃の練習の成果をいかに発揮、手に汗握る熱戦で決勝戦にふさわしい試合となりました。

今年もコロナ禍で参加チームも減り、市内の子供たちもおそらく練習もままならず、鍛えた日頃の力を十分発揮することができなかったのではないのでしょうか。

来年こそ新型コロナウイルス感染

が、収まり大勢の観客を迎え、心おきなく試合ができることを願っております。



第二回東京飛火野ロータリークラブ杯ウインターカップ

東京飛火野ロータリークラブ・日野市ミニバスケットボール連盟共催

2/14(日)・2/28(日) 日野市市民の森ふれあいホール

試合結果

女子 優勝 BLAZE 準優勝 豊田リンクス
3位 日野四小ビクトリーズ 4位 日野ポールスターズ

男子 優勝 日野ポールスターズ 準優勝 BLAZE
3位 日野四小ビクトリーズ

選手参加 96名 参加選手は6年生主体として限定した。

保護者 約90名 保護者の参加も限定して参加してもしました。

スタッフ 各チーム監督、コーチ、招待審判、RC、体協等 計21名

昨年から地区補助金を活用した新たな活動として、日野市ミニバスケットボール連盟の大会スポンサーとして連盟との共催事業を企画しました。昨年度は新型コロナウイルスの流行が始まった頃で中止となりました。今年度も緊急事態宣言中ではありましたが当日の感染対策を十分に行い、選手、保護者の参加も限定的とし、選手には一週間前からの健康チェックも行うこととして開催することにしました。当会からは河野会長、中澤会員(体協会長)、梅田会員の3名だけの参加としました。

このような状況でありますので地区補助金の主旨には外れますが対外的なPRは控えました。しかし、選手、保護者からは感謝の言葉を頂き、開催出来て良かったと実感しました。

提供品 優勝カップ 女子、男子 持ち回り
レプリカ 優勝、2位、3位 女子、男子
参加賞 各チームへボール3 今回参加しなかったチームへも贈呈

■表彰式 表彰状と優勝カップ贈呈

■会長挨拶

★ミニバスケットボールについて

1976年に日本ミニバスケットボール連盟が設立される。1977年より主催に加わる。全国大会は毎年3月に行われる。第7回より国立代々木競技場で行われていたが、工事のため千葉県各地域で行われている。

1970年に京都府バスケットボール協会創立50周年記念として、ミニバスケットボール大会が行われ、これが第一回全国ミニバスケットボール大会となる。

ミニバスケットボールは学校の部活や地域のクラブチームがあるが、クラブチームが圧倒的な数を攻めている。また、小学生の男女を通じて人気がある。ミニバスケットボールは子供の体格や体力に合わせて、通常のバスケットボールより小さく、コートは狭く、ゴールは低くミニサイズに設定したもので、体育教諭によって考案された。

国際的な協議の運営団体として、国際バスケットとボール連盟のミニバスケットボール部門がある。日本では日本バスケットボール協会の加盟団体である日本ミニバスケットボール連盟が運営にあたる。

※コートの広さ。ボールのサイズ。ルール

コートの広さ 縦28から22m 横15~12m ボールサイズ中学生より一回り小さい5号球使用。リングの高さは一般の高さより45cm低い2m60cm。

ルールはスリーポイントシュートはなく、通常ショット（フールドゴール）はすべて2点、またファールによって行われるフリースローは1点。他にもあるが詳細はルールブックなど参照。

◆トピックス

- 1.2月17日、新型コロナウイルスのワクチン接種国内で始まる。
- 2.発達した低気圧が北海道北部にあり、冬型の気圧配置が強まったため、日本海側で風が吹き荒れ、北海道では猛吹雪になるところが出た。
- 3.2月20日、大坂なおみ全豪オープンで優勝。四大大会4度目の優勝。
- 4.2月28日 びわ湖毎日マラソンで、鈴木健吾（富士通）2時間4分56秒の日本記録で優勝。

